

ふるさと講座自然系第3回目「冬の野鳥観察会」を実施しました。

2月12日（日）参加者3名で実施しました。講師は、NPO法人野付・エコ・ネットワークの藤井薫氏です。郷土資料館にて、講師よりこの時期多く見られるオオワシ・オジロワシについての説明を受けました。風蓮湖では、伝統的な氷下待網漁とワシ達との関係により多くの飛来数が確認出来る地域となっていること、さらに近年ハクトウワシが、飛来するようになりバードウォッチャーを楽しませているとのことでした。

観察場所は、まず、別海漁港に向かいました。ここでは、オオホシハジロという希少なカモを観察することが出来ました。風蓮湖では200羽程度オオワシ・オジロワシを見ることが出来ました。春別川河口では、ツメナガホオジロという希少な鳥を観察する事が出来ました。講師によると10年振りぐらいの観察ということになるそうです。

●観察した野鳥

オオホシハジロ・カワアイサ・スズガモ・コオリガモ・オジロワシ・オオワシ・トビ・オオハクチョウ・ツメナガホオジロ・ハギマシコ・クロガモ・ワシカモメ・オオセグロカモメ・ハシブトガラ・ハシボソガラス



釧路市立博物館 企画展「湿原の王国・道東」を実施しました。

2月2日（木）～28日に図書館エントランスホールにて実施しました。

北海道東部、とくに釧路・根室地域には、大小様々な湿原があります。湿原は、生態系の中で多種多様な生き物の生育・生息場所となる一方で人々の暮らしにも密接に関わってきました。

別海町には、ヤチカンバという貴重な植物が生息する西別湿原、道立自然公園の野付半島、風蓮湖など多くの湿原が残っています。企画展をご覧いただいた方から、湿原の成り立ち、種類、発達過程など道東に湿原が多い理由がわかりやすく解説され、興味を持ちましたとの感想がありました。



郷土資料館～利用・活用のお願い～

自分たちの住んでいる町の歴史や自然の情報が詰まっている郷土資料館へ来てみませんか？ 一度も来たことが無い方、何度も来た方、改めて来てみると、以前は無かった物（資料）があったり、新しい情報を得ることが出来るかと思います。

郷土資料館は、3つの施設があります。



郷土資料館

町の歴史や自然を紹介しています。古代から開拓時代の資料や動物のはく製が多く展示されています。



附属施設加賀家文書館

「加賀家文書」という江戸時代の終わり頃の古文書資料を展示、当時の別海町や広く根室管内の様子を知ることが出来ます。



豊原分館（旧豊原小学校）

根釧パイロットファームの歴史を大型写真パネルでみることが出来るほか、多くの郷土資料を見ることが出来ます。

通年開館：入館料 個人 350 円・団体 280 円(高校生以下無料)

5 月から 10 月のみ開館

入館料無料

講座・特別展などを実施しています。

○ふるさと講座（歴史系年3回・自然系年3回）

歴史系では、主に遺跡・史跡めぐり、自然系では野鳥観察を中心に行っています。

○加賀家文書歴史講座（年1回）

加賀家文書についての理解を深めていただくために実施しています。



○サマースクール、ウィンタースクール

小学生を対象とした歴史・自然の事業



○特別展・企画展・出前講座・出前移動展

町の歴史や自然に関わることをテーマとし、より深く知ってもらえるよう実施します。

楽しい発見！、新しい発見！が沢山あります。ぜひ、ご利用ください。

別海町郷土資料館だより No.284

発行日 令和5年3月1日

発行所 別海町郷土資料館

別海町別海宮舞町 30 番地

電話 0153-75-0802 (FAX 兼)

e-mail kyoudo@betsukai.jp

編集後記 コロナウィルスの影響があった3年間、資料館の運営も通常とは違い、多くの来館者にご迷惑・ご不便をおかけしました。来年度以降は、マスク着用の有無の緩和など元の生活に戻りつつあるような気がしますが、まだまだ、安心して生活という感じではないと思います。町内問わず多くの方のご来館・ご活用を願うばかりです。